

第248回研究科委員会・第357回教員会議議事要録

日 時：令和5年8月23日（水） 12：50～13：05／13：30～15：10

場 所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度3月修了修士・博士論文・最終試験の日程について

資料1に基づき、最終試験の日程について説明があった。基本的には例年通りのスケジュールである。博士前期課程は対象人数が多いので、2月15～16日の2日間にわたって開催する予定である。博士後期課程は2月16日である。質問等はなく、提案通り承認された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和5年度10月期及び令和6年度4月期入学大学院入試合否判定について

回収資料に基づき説明があった。一般入試（4月期）については57名受験のうち、55名を合格としたいとの提案があった。教授より、Ⅱ期において今回の合格要件が踏襲されるのか確認しておいた方がいいのではないか、との意見が出された。研究科長から、Ⅰ期とⅡ期とは必ずしも同じ合格要件とはならないとの回答があった。以上の議論を踏まえ、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 第94回全学教務協議会について

(報告事項)

・生成AIの教学面の取扱い（文科省通知）について

資料2に基づき説明があった。質問等は出されなかった。

・大学院教育プログラム部会の状況について

資料3に基づき説明があり、プロジェクト研究Iについて、4件の発表があったことが報告された。質問は出されなかった。

2. 学生生活委員会

(1) 日本学生支援機構大学院奨学金返還免除者の決定について

今年3月に修了した大学院生に対して博士前期課程7名、後期課程1名を推薦したところ、全員が半額免除となったことが報告された。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 教員の採用について

資料4の公募文書について経緯を含めて説明があった。高度情報専門人材に対応する6名について、最初に資料4-1情報系（5名）にもとづき情報系担当教授より説明があった。続いて、資料4-2メカトロ系（1名）に基づきメカトロ系担当教授から説明があった。B教授から、今回の人事公募でテニュアトラックにしなかった理由、及びセクハラに関するもののみを取り上げた理由について質問があった。学類長から、今回の文書については文科省からの通知を踏まえ、人事課に確認したものである。また、テニュアについて、今回は確実に採用しないといけない案件なので、任期付きとしなかった、との回答があった。メカトロ系担当教授から、本学ではテニュアトラック制度はできないので、任期つきという条件を付

けることは考えられる、との補足説明があった。C教授から、セクハラで「学生に対する」という文言を入れた理由について質問が出された。学類長から、これは文科省からの通知文書そのままである。念のため人事課に確認するが、このままの表記になるかもしれない、との回答があった。D准教授から、学位記の写しは必要なのか、「主要論文5編以内の概要」という表現が分かりにくいし、研究業績リスト作成の労力を軽減した方がいいのではないかと、との質問が出された。情報系担当教授から、学位記は採用過程の中で必要になるものであるから、最初に提出してもらう必要がある。また、研究業績リストも作成者の責任の所在が明確になるので提出させたいと考えている、との回答があった。E教授から、情報系の5分野を選択した趣旨を教えてほしい、との質問が出された。情報系担当教授から、文書中の5分野は情報系のかかなりの分野をカバーしており、その中でもコアとなる専門を意識しているとの回答があった。E教授から、書類審査するときにはどのように分けて実施するのか、との追加質問があり、情報系担当教授から5分野についてそれぞれの分野間で情報を共有しつつ1つの資格審査委員会で進めることを想定している、との回答があった。F准教授から、公募文書中の文言について修正アイデアが出され、学類長から文言の修正については人事委員会にて再検討することにしたいとの発言があった。B教授から、今回のように全国一斉に同様の専門分野の公募が行われる場合、対策は何か考えているかとの質問があった。情報系担当教授から、やれることはすべてやるが、面接等でがんばるに尽きる、との回答があり、さらに学類長からは、文科省にも採用できると明言して進めているので、何とかやるしかないとの回答があった。一部再度確認する部分があるが、公募内容については最終的に承認された。

(2) 客員研究員の任用について

資料5及びプロジェクター投影に基づき、新規の申請について提案された。内容については人事委員会で確認して了承してもらっている。質問等はなく、提案通り承認された。

(3) 令和7年度入試における定員増への対応について

最初に資料6に基づき、状況の説明があった。総合型選抜が焦点で、令和7年度から入試内容を大きく変えるのでこの定員をあまり多くするには不安がある。よって総合型選抜と学校推薦型の合計で全体の定員3割確保を免除してもらいたいと思い提案した。続いて評議員より具体的な人数の説明があった。内訳は、総合型選抜35名、学校推薦型選抜20名、一般前期95名、一般後期50名である。F教授から、一般後期は面接のみになるので、ここを増やさないようにできないかとの意見が出された。評議員から、入試検討チーム内で様々なシミュレーションを試みた結果、数名程度の定員増ではほとんど変わらないだろうと考えている、との回答があった。G准教授から、定員変更について2年前予告は必要なのかとの質問が出された。学類長から、これは受験生にとって不利益変更には当たらないので大丈夫だと考えている。それよりも、定員確保に向けて今後の入試広報活動が重要になると考えているとの発言があった。H教授から、今回の定員増は設置審の意見伺いとなるので、総合型選抜入試日程は現行の日程よりも後ろに移動しないと間に合わないのではないかと、との質問が出された。学類長からはこの件については文科省へ確認したいとの回答があった。以上の審議を経て、提案通り承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和5年度非常勤講師計画について

資料7に基づき、2つの科目において講師が確定したとの説明があった。質問等はなく提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 学生の退学及び除籍について

プロジェクター投影に基づき、退学1名、除籍1名が報告された。

(2) 第94回全学教務協議会について

(報告事項)

・全学FD研究会の日程について

資料8に基づき、10月26日(木)に開催予定であるが、資料中の講師が変更になったとの説明があった。また、昨年度実施した教職FDはなくなったこと、かわりに研究FDが終了後に開催される可能性があるとの付言があった。

(3) 研究室配属希望結果について

資料9に基づき、3名が希望届未提出であるとの説明があった。I教授から、自分の研究室の定員は5名となっているが、面談しなかった学生がいる場合にはどうするのかとの質問があり、教務委員長から資料中の人数はあくまで希望した学生数であるので、具体的な状況については教務委員会にて確認することになる、との発言があった。

2. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金2件、共同研究2件、受託研究1件の報告があった。

◆教育研究評議会◆

○第403回(7月25日開催)報告

(1)【審議】非公開議題

教員控室に掲示してある通りであるので、そちらを確認してほしい。これに関連して、出張報告については9月以降、より厳密になるので適切に対応してほしいとの付言があった。

(2)【審議】教員人事について

資料はないが、当該教員から申請があり審議・了承されたとの説明があった。

(3)【審議】学内諸規則等の制定について(福島大学名誉教授称号授与規則)

資料3の通り了承されたとの説明があった。

(4)【報告】令和5年度学類運営計画の策定について

資料4-1の表に基づいて説明があった。

(5)【報告】令和4事業年度決算について

特に資料5-1の「利益処分に関する書類」について説明があった。

(6)【報告】令和6年度概算要求について

資料6-1について、理工を中心として申請した「水素エネルギー総合研究所」について説明があった。また、資料6-2のとおり設備費で理工から2件、食農から2件の申請があり、理工は順位1位と3位であること、資料6-3は施設要求の資料であるとの付言があった。

(7)【報告】2022年度卒業時DP評価、卒業時アンケートの集計結果について

資料7-1について卒業時のDP評価について説明があった。入力率については、理工学生は93.5%、理工教員は82.3%であった。また、資料7-2の卒業時アンケートについても後ほど確認してほしいとの付言があった。

(8)【報告】大学改革(学士課程改革)について

理工学類の動き、すなわちこれまでに学士課程改革については将来構想検討委員会で議論してきており、令和7年度から入試、コース再編、学類基礎科目について改革する予定で進めていること、さらに高度情報専門人材や概算要求(水素研の設置)にも対応している、と評議会において報告したとの発言があっ

た。

- (9) 【報告】 大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
の選定について

資料9のとおり、7月21日付けで選定されたとの通知が届いたことが報告された。

◆運営会議◆

○第189回（8月8日開催）報告

- (1) 【協議】 大学改革（学士課程改革）について

とりまとめた資料の修正版が会議運営サイトにアップされていないので、次回教員会議で改めて報告する。

以上